第四章
資 料

令和７年３月１０日

第35回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■３月１０日が東京都平和の日であることについて

a. 知っていた　　b. 知らなかった

■記念行事への参加回数について

a. 初めて　　b. ２～１０回　　c. １１～２０回　　d. ２１回以上

■本日の記念行事について

1 「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

a. 大変良かった　　b. 良かった　　c. 普通　　d. 悪い

（ご意見：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください。

a. 大変良かった　　b. 良かった　　c. 普通　　d. 悪い

（ご意見：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

a. 「記念式典」のみでよい（その理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

b. 「記念式典」と「記念演奏」を行う（その理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

c. その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

4 この行事を何でお知りになりましたか。

a. 広報東京都　　b. 東京都のホームページ　　c. 知人から聞いて

d. ＳＮＳ（X（旧 Twitter）等）　　e.その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■その他ご意見ご感想をお聞かせください。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

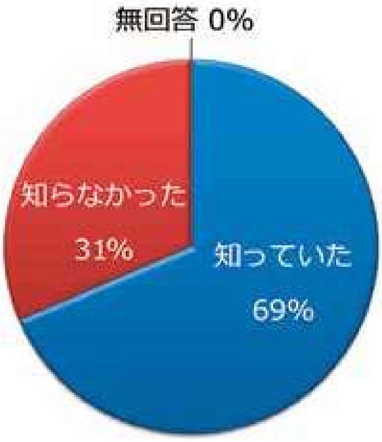
お歳：＿＿＿＿＿＿代　　お住まい：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。　　東京都

アンケート集計結果

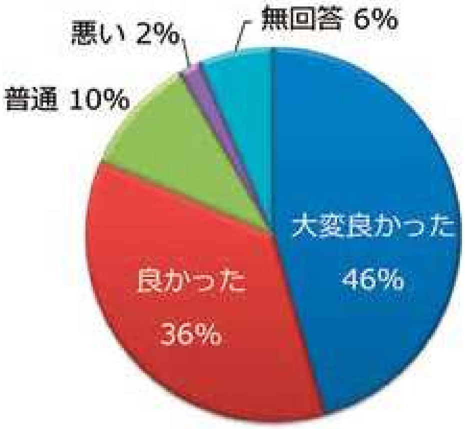
回答数：156

3月10日が東京都平和の日である事について

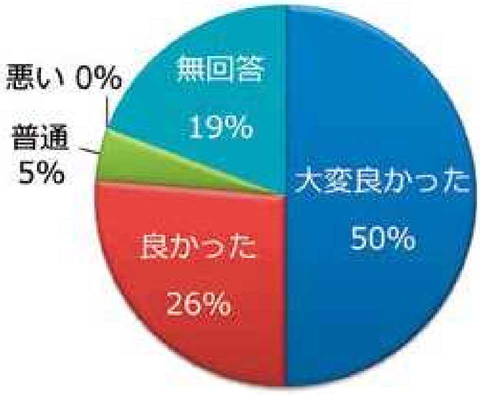


記念行事への参加回数について

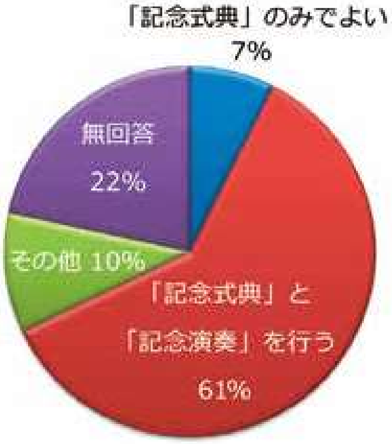
第一部「記念式典」について



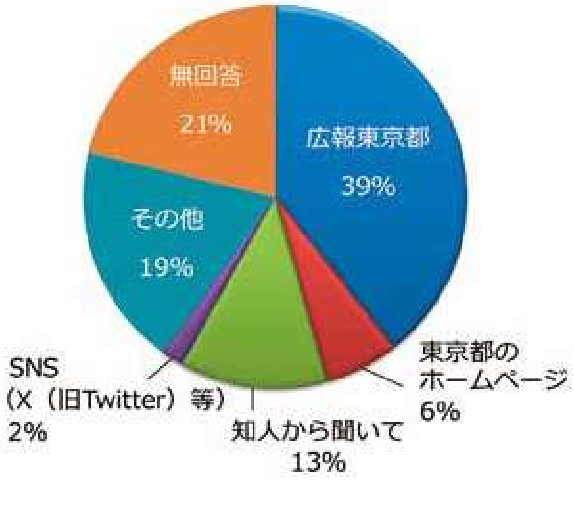
第二部「記念演奏」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか



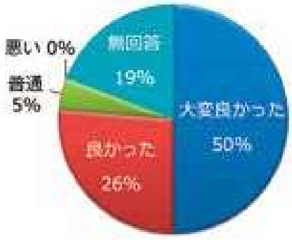
自由意見

1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

◆ 式典は、広く都民に知らせてもっと大々的にやって欲しい。都内各地で平和の取り組みをしてほしい。
◆ 体験者の話は何よりも説得力があります。
◆ 初めての参加でしたが大変意味深い行事に参加できたことは光栄です。
◆ 体験された方のお話。
◆ 被災者のお話がよかったです。
◆ 被災者のお話がとても分かりやすかった。
◆ 初めて参加させていただきましたが、改めて逢うことのできなかった祖父の命日に、多くの方と平和を願う気持ちが合わせられてよかったです。
◆ 子どものころに親と両国へお参りしたのを思い出します。平和がありがたいです。
◆ 祖父が大空襲犠牲になっているため参加できよかった。
◆ 簡素でありながらも平和への祈りがこめられた内容であった。
◆ 意味のあることなので評価すべきことではないと思う。
◆ 丹後様のお話がとても分かりやすく、やかんとおにぎりのエピソードが印象的でした。
◆ 展示コーナーもよかった。各国の代表の方もいらしており、国際的な行事と感じた。
◆「記念」という式典のネーミング自体に違和感を抱いています。母が5歳で被災しています。被災者・子供は年をとり、なくなっているため、若い人も参加いただける場となるようにしたい。
◆ 東京大空襲を生き延びた者としてつらかったことを思い出す。
◆ アメリカ大使館の駐日大使より当時のお話を聞きたかった。
◆ 悪いというわけではございませんが、空襲等に関する都政の報告や、空襲犠牲者数の現段階の数の報告とか、何かもっと考えさせる内容を盛り込んでほしいと思います。
◆ 亡くなった方々を回向できました。
◆ 体験談が良いと思いました。
◆ 丹後さんの話が平和な今を多くの人の努力で成り立っていることがよく分かった。また、とてもわかりやすく話をしてもらってありがたかった。
◆ 実際に戦争を経験した方のお話が良かった。
◆ 実体験の話は心に響いた。
◆ 空襲の体験者の実体験を伺えてよかったです。今後も生存者存命の限り、継続して頂きたいと思います。
◆ 式典らしかった。
◆ 丹後さんの東京空襲体験の話を聞いて、状況を知ることが出来ました。
◆ カメルーン大使の通訳を介してのお話も、丹後氏のお話も、大変よかった。
◆ 進行がとてもスムーズだった◎
◆ Very well organized.
◆ Maybe pictures of that time.
◆ Simple and thought provoking.

◆ Very symbolic.
◆ Elle relate les événements tragiques.
◆ It is a good move to preach peace in the world.
◆ Program perfectly fits to the occasion.
◆ Good diversity of commemorative statements.
◆ Turkmenistan together with people of Japan.

2. 第二部「記念演奏」についてご感想をお聞かせください

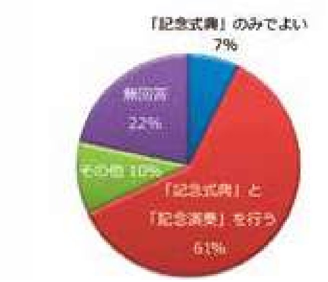


◆ 都合で聞くことができなかった。
◆ 寂しい内容の後にとてもよかったです。特に古里を想いだしステキ。
◆ 曲は知らなくてもよい曲というのがよく分かりました。
◆ バッハはピアノで練習した大好きな曲の一つです。幸せなひと時でした。
◆ 平和の音色を感じ曲目の解説もよかった。
◆ とても癒されました。
◆ もっと人数を増やして。
◆ 心が穏やかになりました。
◆ どうしても悲しくなってしまう日に、温かい音で嬉しくなりました。
◆ とても癒される演奏でした。ありがとうございました。
◆ 平和の式典に最もふさわしい演奏内容だった。～ふるさと～レクイエムになったと確信した。
◆ 選曲がよかった。演奏は申し分なし！
◆ 選曲理由などお話しいただけるとなお良いかと思いました。（テーマとの関係性）
◆ 選曲も解説もわかりやすく、演奏者の真剣な顔と笑顔が大変良かった。
◆ つらい気持ちがやわらぐ。
◆ ここち良かった。
◆ 音楽の平和への力を感じた。
◆ 真心がこもっていました。
◆ 日本の曲を多めにお願いします。
◆ とても良かった。少し長くてもよかった。もう少し選曲に意味が欲しかった。司会者がいて、英語の説明も欲しかった。演奏家が専念できるから。
◆ いつも聴かないので、とても楽しんで聴くことができました。
◆ しっとりした雰囲気で良かったです。
◆ 素晴らしい演奏だった。
◆ Could not attend this time.
◆ Beautiful performance.
◆ Les rythmes pleins d'émotion.

アンケート集計結果（自由意見）

◆ Heals the soul and reflects on the Past.
◆ Nice music.
◆ Very professional.

3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください



a「記念式典」のみでよい

◆ 被災者の話をもっと聞きたい。
◆ 内容をもっと考えてほしい。たった30分では足りないよ。
◆ 演奏もそれなりにお金がかかると思うので。
◆ もっと多くの経験談を聞きたい。

b「記念式典」と「記念演奏」を行う

◆ 平和を考え音楽は癒しになるから。
◆ よいと思いますが今日急用があるので最後までいられないで残念です。
◆ 式典だけでは単調にすぎる。
◆ 音楽のやすらぎもありがたい。
◆ 3/10を忘れない。
◆ とてもいい行事です。末永く続けられますよう。
◆ 心が癒される。
◆ 記念式典はコンパクトでいいがこれだけでは遠くからくるのにもったいないから。
◆ 参加者の印象に残る。
◆ 犠牲者の慰霊の意味で。
◆ 式典だけではね。
◆ 過去を忘れないことと心を和やかにする演奏の組み合わせがよい。
◆ 明るい希望の気持ちで終われた。
◆ 音楽で心が豊かになった！悲しいニュースが多すぎな時代です。
◆ 戦争によって尊き命が失われた方々へのレクイエムであるから。
◆ 戦災で亡くなった人々への追悼にふさわしい曲目です。
◆ 音楽には追悼と希望がある。
◆ 演奏により心が和むため。
◆ 音楽は国境は関係ないし、平和な時間を感じるから。
◆ ステキな演奏でした。追悼と平和の祈りに音楽は必要不可欠です。
◆ 大学生くらいの次の世代の方々に関わっていただけるようにしていくのはいかがでしょうか？？
◆ 演奏を楽しみにしている。
◆ 演奏があった方が華やか。
◆ 式典のあと心がゆったりしてよかった。すばらしい演奏でした。

◆ かたい話の後でリラックスできる行事が良い。
◆ みんなで歌える曲があってもいいかな？
◆ 死者を弔う大切さ。子供や孫に、平和をしっかりと引き継ぎたい。
◆ 音楽は平和の象徴であるから。
◆ 式典だけでは短い。
◆ ぜひ心を巡らせるいい機会となった。
◆ 毎年演奏は楽しみです。
◆ 挨拶だけだとつまらない。
◆ 音楽はとても良い。
◆ 少し心がほっとしました。
◆ 挨拶もそこそこに演奏に入っていい。
◆ 悲しい気持ちのまま帰るのは辛いから。
◆ 式典だけでは味気ない。
◆ 式典だけだと栄えないかも。
◆ 大義と名分。
◆ 音楽は心を癒してくれるので。
◆ 今のままでよい。
◆ Music is heartwarming and appropriate to commemorate the victims.
◆ Music brings out a message well.
◆ It is an extremely important anniversary that has to be commemorated primarily.
◆ Helm to unite positive thoughts in commemoration of peace.
◆ Peace is important and must be observed and celebrated at all levels by all countries.
◆ Excellent sounds. Very meaningful choice of music.
◆ Makes people understand importance of peace.
◆ After tragedies, life goes on. Music represents that.
◆ I believe the arts to be one of the best ways to celebrate peace.

c その他

◆ 戦争体験者の話をふやして。
◆ 現在は都会と遠方故不参加ですがいずれ子、孫も来ると思うので続けてほしいです。
◆ 一般席が多くあいておりもったいないと感じました。
◆ 今日はマスコミも各施設を報道しています。各地の様子をライブ配信して見せた方が良いと思います。
◆ 戦争そのものを語るべき。
◆ なぜ戦争に至るのかというような事を解説してくれる等のセミナー的な講話も有ってもいいのではないか。
◆ 平和の原点の日として忘れないため。これからの世代の人々へ語り継がれて継承されなければならない。

アンケート集計結果（自由意見）

- ◆ 空襲経験談をより多くの人からお聞きしたい。
- ◆ グローバルな観点を示してほしい。
- ◆ 式典と関連イベント。内容→関係する都政報告、体験者のお話をもっと、学校等での継承活動などの先進事例の共有など。
- ◆ 形式ばらずに、市民参加型の方法を考えてください。
- ◆ もっと聞きたかった。
- ◆ 今のままでよい。
- ◆ 空襲写真のスライド等の披露を希望します。（展示のみでなく）
- ◆ Music covers sorrow.

◆その他意見、感想

- ◆ 駐日外交団代表からの挨拶は、原文を掲載（対訳付き）していただけると言葉（言語）のニュアンス、思いがより一層伝わるのではないかと感じました。
- ◆ 石原町の方にもう長年おまいりしています。家はなくなっています。私が 1 人になりました。4 月 8 日で 90 才です。
- ◆ 1 階受付の場所がわかりにくかった。
- ◆ 普段聞けない音楽が楽しかったです。
- ◆ 毎年心新たに参加させていただいて居ります。いつも心ひきしまる思いです。二度と戦争はあってはなりません。私も 88 歳になりました。今後は息子や孫たちにこの思いを引き継いでいきたいと思っております。
- ◆ もっと平和の式典があることを宣伝した方が良い。
- ◆ 若い人たちがもっと多く来てほしい。
- ◆ 駐日カメルーン大使様の内容安心いたしました。どなたも大切です。義理の兄を亡くしております。ステキな兄でした。（その姉は戦争に行くのを知って、嫁がされ戦地へ行くとき姉の頭の「毛」を持参したと聞いています）
- ◆ 東京大空襲の資料は本もいろいろあると思うので本の展示、本のリストの展示をしてほしい。
- ◆ 式典というものに初めて参加。戦争は絶対にしてはいけないと常に思っているが、式典はあまり意義を感じない？ものでした。区切りの行事として必要であるとは思いますが、自分としては今後の参加はあえて必要ないと。式典としてもっと簡単にする方が費用もかからないのではと気になってしまいました。
- ◆ 自分は炎の中やっと母に背負われ生き残った 80 年の節目に申し込んだが戦争がどんなに悲惨であっても次第に忘れられていくものだとつくづく実感した次第。そんな日になった今日。
- ◆ 若い世代の人々にもぜひ参加してほしいと思いました。戦争体験の方のお話は、今の時代起こりうる事。心に残るお話ありがたく聴かせていただきました。どうぞ、お元気に、多くの人々に伝えてください。本日は大変ありがとうございました。
- ◆ 戦争は決して行ってはならないです。3 月 10 日を忘れないでほしい。（3 月 11 日がクローズアップされて 3 月 10 日が忘れられそうだから）

アンケート集計結果（自由意見）

◆ 父の軍歴証明書を発行してもらうのに大変苦労しました。海軍と陸軍では手続きが違うとか。もっと簡単にはできないのでしょうか。

◆ 平和の日式典に出席してよかったです。世界平和をわかっています。

◆ 記念演奏がすばらしかった。特にチェロの音色がよかった。ありがとうございました。

◆ 平和が当たり前ではないことに気づかされました。世界に向けて日本の発信力をもっと強くすべきと思いました。

◆ 戦後80周年なので、そこにもう少し特化した式典でもよかったかなと感じました。こんなに多くの空襲があちこちであったのも信じがたい現代しか知らないままですが、亡くなった祖父や遺された祖母も今の自分たちの子供たちと同年齢だったと思うと、それらの世代を繋ぐ身として、そんなに遠くない過去は忘れずに伝えていかなければと感じます。今日は貴重な機会をありがとうございました。

◆ 祖父を空襲で3月10日になくし父親から悲しい話を聞かされ戦争は絶対に起こしてはいけないといつも言われました。今年東京空襲犠牲者名簿に記載されました。

◆ 終戦から80年、高齢化が進み語り継がれることも少なくなり、立ち止まって平和について考えるいい機会だと思います。

◆ 学児・児童・中高生・大学生と若い方々代表も記念行事代表として参加ができることを望みたい。

◆ 大変いい取り組みだと思いました。演奏も素敵でしたが、被災者の方の声などもっと聞けたら良いと思いました。

◆ とても素晴らしくすてきな演奏をうれしくきかせていただきました。

◆ 会場で戦争のお話を聞けて良かった。

◆ 以前のようにソプラノ入れてフルでお願いしたい。

◆ 戦争を経験した世代が減る中、行事を行うのは非常に大切なことだと思う。一般の方も参加できてありがたかったです。この後、横網町公園へ行き、平和な時代へ感謝してきます。

◆ 東京大空襲被災者代表丹後省三氏の体験談と氏の願い「平和と繁栄の社会を受け継ぐ」が一番印象に残りました。

◆ 通常兵器使用禁止、反戦を訴える日！としていくのはいかがでしょうか？

◆ 一緒に来た母（85歳）とそのお友達は「語りたくても思い出すだけで辛すぎてやっぱり語れないわね。」と話していました。母は江東区深川森下町で被災しました。

◆ 平和が続くよう祈るのみです。戦争のない平和な世の中、争いごとがありませんようカシコイ指導者の出現、対話を重ね対話による平和な世の中を祈ります。

◆ 主催者様、来賓の方や東京空襲被災者の丹後様のご挨拶やお話を聞かせていただけて、今日1日戦争と平和について再度考える機会を下さりありがとうございました。実際に目で見て耳で聞く機会をいただけることはとてもありがたいことだと感じました。家族とともにこの場所にいて考えることができて主催者の皆様、小池都知事様に感謝申し上げます。

◆ 平和への想い、意欲はもちろん重要だが、個人的には戦時中に何が起きていたのか、もっとこの場を通じてクロースアップしてほしい。失礼だが、想像よりも内容の薄い式典であった。果たして本当に平和への願い

が後世の人間に伝わるのだろうか。不安である。

◆ 本日はありがとうございました。平和の日という言葉がとてもいいです。皆様（私も含め）平和にすごしていけますように。

◆ スタッフ数が多いのが気になった。同じ場所にたくさんいたのは職員なのか報道なのかわからなかったが、もう少し節税するのもアリなのかとも思った。それには「順路」看板を用いるなどの工夫が欲しい。

◆ 戦争を知らない私にとって丹後さんのお話は心に響くものでした。たくさんの方に聞いてほしいです。ぜひ来年も参加させていただきたいと思いました。

◆ 平和の大切さと重さを再認識できました。

◆ もう 10 年以上参加しております。今後の平和の日の在り方として、このまま老人会として自然消滅を待つのか、原爆と同様一般市民への殺傷の是非を世界へ向けて発信していくのか。今後の立ち位置を決めていく時期に来ております。どうぞご再考ください。

◆ 戦争体験が具体的でよかった。平和への想いが、ありがたさがにじみ出ていた。

◆ 終戦より 80 周年という大節目の年に東京都平和の日記念行事に出席できてありがたく心より感謝申し上げます。世界が平和でありますように。

◆ このような平和記念行事を開くことにより、平和・安全の大切さを痛感できるのが良い。

◆ 選曲はとてもよかったです。アンコールを願っています。その時のことを思い出して、このような時間を作って下さり感謝です。今日はありがとうございました。

◆ 次回は妻や友人と一緒に参加したいと考えています。

◆ 毎年被災者の話は悲しみに胸が痛む。平和はかけがえのないものであると強く思う。

◆ 記念演奏を長めに！空席が多いのが気になった。

◆ 戦後生まれで親も幼少の世代です。今回は平成生まれの娘と主人で参加させていただきました。昔、華道の先生から当時横浜のフェリス女学生時代、東京に向け空に B29 を見たと話に聞きました。風化されないよう、経験した方の話を忘れることなく伝えていってほしいです。

◆ 義父が亡くなり戸籍を取り寄せた際、祖父、祖母、叔父、叔母、多勢が東京大空襲で亡くなったことを改めて知りました。義父は 1 人残されて、大変苦労したので思い出すのがつらかったのか、名簿の登録も行っていませんでした。もっともっと多くの人の名前がまだ登録されていないと思います。

◆ 硫黄島についても、少し触れてもいいかなと思いました。

◆ 武器による平和の実現はない。

◆ 戦争はリーダーの人の心一つですので、罪なき人の命は大切ですので考えていただきたい。

◆ 椅子が柔らかい方がいい。

◆ 私含め、今の高校生や若い世代は、平和の日があること自体あまり知らないと思う。認知させることに注力したほうが良いと思った。

◆ 昭和 16 年生まれの姉と参加しました。姉は板橋で空襲にあい右手に火傷。包帯でぐるぐる巻きの治療しか受けられず、4 本の指が曲がり、くっついてしまいました。戦争は絶対反対です。議員の皆様、たくさんご参列されていましたので、小池知事を中心に絶対平和をこれからも築いてください。

アンケート集計結果（自由意見）

◆ 原形をとどめていない、鉄兜や水筒を見て、原爆の恐ろしさをあらためて感じた。

◆ 改めて、今後も継続開催した方が良いと思います。

◆ 知人の先輩（80代後半）は毎年八王子より足を運んで式典に参加していました。その東京空襲の当時の体験もあわせ、式典の話や戦争被災の大変さをうかがってきていたが、本日はじめて式典へ参加でき、大変有意義でした。非戦への思いを深くしました。

◆ 初めて出席させていただき、年齢を重ねていく毎に、大変平和の大切さを感じます。

◆ It would be good to invite schools to participate in the ceremony. Young children need to learn more about peace and the importance of it.

◆ Students should be included, as Peace starts from the home.

◆ It is important to remember the Peace Day Memorial.

◆ It is my humble prayer that countries experiencing conflicts come into agreement to stop wars.

◆ Thank you for the invitation. Kindly consider involving young children and guests. More information in English.

◆ Embassy of Turkmenistan in Japan and me personally would like to express gratitude for invitation for this valuable event with participation of people of Japan.

◆ Thank you for the invitation. This is an important event to commemorate the victims and appropriate peace more.

◆ Thank you very much for the kind invitation.

東京都平和の日条例

平成二年七月二十日
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

(平和の日)
第一条　東京都平和の日は、三月十日とする。

(記念行事)
第二条　東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

(委任)
第三条　この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of the world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)
Article 1　The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)
Article 2　In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)
Article 3　Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision
This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990
Tokyo Metropolitan Ordinance No.90

東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は大空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえのない尊い命が失われました。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がいまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちは、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあったからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力がますます必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せで安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあって、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の穏やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとって緊急な課題であり続けています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められている時はありません。

平和は、何ものにもまさってすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あるごとに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐づよく取り組むことを決意します。

一　私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京大空襲の体験などとともに語り伝えます。

一　私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもって、誇るに足る地域社会をつくります。

一　私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。

一　私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。

一　私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやって来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日　東京都

An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10th 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment- these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

- We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

- We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

- We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

- We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

- We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5th Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10th, 1995